

# 公式記録

## 平成19年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 決勝【164】

主審署名 **小川 耕司**

日時 2007年6月10日(日) 13:45 キックオフ 会場 三木総合防災公園陸上競技場

天候 晴れ 風 弱風 ピッチ 芝・クレー 状態 良好・不良・泥沼 試合形式 70分/延長20分 PK戦有

審判員 主審 小川 耕司 副審1 大前 毅 副審2 松山 典章 第4の審判員 後藤 伸頭

記録 赤松 正人 / 菅原 正裕 観衆 1,300人

kick off	0	前半	0	kick off	0	前半	0
1	後半	0	1	後半	0	延長前	
	延長後					延長後	
						PK戦	

交代 No.	OUT時間	シュート				得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート				交代 No.	
		延後	延前	後半	前半									前半	後半	延前	延後		
						金本 幸平	3年	1	GK	GK	21	岡田 真慶	2年					分	
						長田 武士	3年	2	DF	DF	3	小田 健太	3年					分	
						古結 義朗	3年	5	DF	DF	17	中西 一希	3年					分	
						朴 斗翼	2年	22	DF	DF	22	吉田 和功	3年					分	
						下田 尚平	2年	17	DF	DF	5	田中 大二郎	3年					分	
	68分				1	福原 博文	3年	7	MF	MF	9	記虎 勇人	3年	2				64分	
					1	2	増井 直樹	3年	8	MF	MF	13	杉本 貴志	3年	1				51分
							吉田 雄太	3年	9	MF	MF	16	外島 拓也	3年	2				分
							酒見 成紀	2年	19	MF	MF	6	吉波 毅頭	3年	1	1			分
							須ノ又 諭	3年	10	FW	FW	11	坂本 諒斗	3年					54分
					1	2	1	西堀 哲也	2年	24	FW	FW	10	倉内 周	3年	2			分
								谷口 航	2年	25	GK	GK	12	谷岡 貴之	3年				分
								重信 孝幸	3年	4	DF	DF	2	深谷 裕大	3年				分
								比翼 太希	3年	15	DF	DF	18	中西 隆裕	2年				分
								津田 敬昌	3年	21	DF	MF	7	湊 雄太郎	3年				分
	7分							石井 晶士	3年	6	MF	MF	8	大塚 尚毅	3年				分 11
								和定 修平	2年	13	MF	MF	23	鉛口 雅也	3年				分
								村上 公祐	2年	18	MF	MF	4	吉澤 春風	2年				分 13
								傍嶋 健太	3年	11	FW	FW	19	河本 駿	2年			1	分 9
								久保 航	3年	20	FW	FW	15	御手洗 海斗	2年				分

時間	警・退 No.	氏名	事由	鈴木 利章				監督				梶 裕保				時間	警・退 No.	氏名	事由
44分	警	8	増井 直樹	ラフ	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	分			
分					7			2	5	シュート	8	2			10	分			
分					7			3	4	GK	8	4			12	分			
分					0			0	0	CK	2	1			3	分			
分					10			5	5	直接FK	6	9			15	分			
分					4			2	2	間接FK	0	2			2	分			
分					4			2	2	(おかけ)	0	2			2	分			
分					0			0	0	PK	0	0			0	分			

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS															
	54分	神戸科技高校	24	西堀哲也	1-0	中央 24	→	右 10	~	→	中央 24	S									
	分					-															
	分					-															
	分					-															
	分					-															
	分					-															
	分					-															
	分					-															

戦評者 所属【 宝塚高校・龍野高校 】 氏名【 吉田・笠原 】

前日より心配された雨も上がり、最高のピッチコンディションの中、神戸科技のキックオフで始まる。滝川第二はFW⑩倉内・⑪坂本をスペースへ走らせ、チャンスを作る。一方、神戸科技は足元へのパスが多くペースがつかめない。前半の半ば過ぎより、神戸科技FW⑩須ノ又を中心に攻撃を仕掛けるが得点には至らない。後半も立ち上がりから両チーム共にFWを縦に走らせるが、両サイドからの攻撃が出来ないため決定機を作ることが出来ない。後半15分滝川第二は選手交代でリズムを変えようとするが、逆にその直後神戸科技FW⑩須ノ又が右サイドを突破し西堀が先制する。滝川第二は高さのある選手を投入するも流れを変えることが出来なかった。後半、特に両チームとも単調な攻撃が多かったように思う。